

ここちゃんと防災

～ “ここ” から “ちゃんと” そなえよう～



今月のテーマ

「凍結による断水」

2022年1月 vol.3

作: 福島 由起子 (防災士)

寒波の被害の一つとして注目されているのが、水道管の凍結によって起こる断水です。

ライフラインである“水”に直結する被害を防ぎ、いざという時のために備えておくにはどうしたらよいでしょうか？

凍結により水道管が破裂!?

気温が0℃以下になると水道管の中の水も氷になり、水が出にくくなります。さらに困るのは、**凍ること**で水道管が破裂してしまうことです。

水は氷になると体積が1.1倍に増えるため、密閉された管を押し上げてしまいます。水道管が破裂してしまったら、たとえ氷が溶けて復旧したとしても、水漏れしてしまい、断水になってしまいます。

水道管の凍結を防ぐために重要なのは、「**水道管が直接外気に触れないようにする**」ことです。天気予報を見て「冷え込みそうだな」と思ったら、凍結を予防することを心がけましょう。

水道管の凍結予防方法

- 1 外に露出している管に断熱材を巻く
(断熱材がなければ、毛布やタオル、発泡スチロールで代用可)
- 2 紐などでしっかり固定
- 3 防水のためにビニールテープできっちりガード

水を少しずつ出しておくのもいいですね。ただ「ポタポタ」だと凍結の恐れがあるので、「ポタポタから線になる」くらいの水量がベストです♪



※断熱材は、ホームセンターで入手できるもので十分です。

もしも水道管が凍ってしまったら…(☹)

ついやりがちですが、**お湯をかけて溶かすのは大きな間違い**です！推奨されているのは、「自然に溶けるのを待つ」こと。しかし、日中気温が上がらなければ凍ったままになってしまいますよね。

溶かしたい場合は、**凍結している管にタオルを被せ、ぬるま湯をかけて徐々に溶かしていきます**。いきなり熱湯をかけると、急激な収縮で水道管の破裂や故障を招く恐れがあるため、ゆっくり時間をかけて溶かすことが非常に大切です。

また、マンションなどの集合住宅では、建物に入っている水道管はオーナーや管理会社の管轄になるため、無断で断熱材を巻いたり、凍ったからといって勝手に溶かすのはトラブルの元になる可能性があります。管理人などに状況を伝えて対処してもらいましょう。

断水に備えよう

もしもの時に焦らないためにも、日頃から水を備えておくとうれしいです。水は、**1人あたり1日3リットルが目安**です。最低3日分は確保しておきましょう(1人当たり9リットル)。また、お風呂の残り湯をとっておくのもよいですね。